

令和8年8月26日

愛知教育大学学校教員養成課程
義務教育専攻学校教育科学専修
生活・総合専修 入学予定者 各位
ICT活用支援専修
日本語支援専修
特別支援教育専攻

愛知教育大学 教務企画課長

希望免許教科の意向調査について(照会)

学校教員養成課程義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、卒業要件に含まれる小学校教諭免許状（一種）等に加えて、1つの教科の中学校教諭免許状（二種もしくは一種（※））を取得することができます。

この教科を「免許教科」と呼び、合格後、希望する教科を選択していただき、大学において調整の上、決定されます。

については、「2. 選択可能な免許教科」から、希望する教科を、以下URLの回答サイトにて回答してください。その際、必ず第5希望（日本語支援専修は第2希望）まで回答してください。回答後の変更はできません。

その後、回答内容に基づき、できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できるとは限りませんので、ご承知おきください。

なお、大学による免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

また、決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や能力の高い専修学生とともに学ぶことになります。各授業科目の成績評価基準に満たない場合は、卒業までに免許状取得に必要な単位修得ができないこともありえます。したがって、教科の選択に当たっては「3. 教科を選択するに当たっての留意点」をよく読んで、希望する教科を慎重に検討してください。

万一、未回答であった場合は、中学校教諭免許状の取得希望の有無等について、詳細を確認します。

- 回答サイトURL (Microsoft Forms)

<https://forms.cloud.microsoft/r/6KYsrx0Czf>



- 回答期限

入試ごとのWEB手続締切日時まで

【 1 . 各専攻・専修で取得できる免許状】

専攻・専修		卒業要件に 含める免許状	取得を優先して 薦める免許状 (※ 2)	所定の科目履修で 可能とする免許状 (※ 3)
義務 教育 専攻	学校教育科学専修	小学校一種	中学校二種 特別支援二種★(※ 4)	中学校一種 中学校一種/高等学校一種 (職業指導)★ 幼稚園二種★
	生活・総合専修	小学校一種	中学校二種 特別支援二種★ (※ 4)	中学校一種 幼稚園二種★
	ICT活用支援専修	小学校一種	中学校二種 特別支援二種★(※ 4)	中学校一種 高等学校一種(情報)★ 幼稚園二種★
	日本語支援専修	小学校二種 中学校二種 (国語 or 英語)	小学校一種 中学校一種 (中二種の教科)	高等学校一種 (中二種の教科) 特別支援二種★(※ 4) 幼稚園二種★
特別支援教育専攻		特別支援一種 小学校一種		中学校二種 幼稚園二種

※ 1 印のない免許状に加えて、★の免許状は、いずれか 1 つを選択し取得を目指すことができます。

※ 2 概ね卒業要件単位数の範囲内で取得可能です。

※ 3 卒業要件単位数に加えて単位修得する必要があります。

※ 4 特別支援学校教諭二種免許状は、知的障害者教育領域、肢体不自由者教育領域の 2 領域に係る免許状が取得できます。

【 2 . 選択可能な免許教科】

免許教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

【3. 教科を選択するに当たっての留意点】

	入学後、 二種免許状 を取得するための学修を進めるに当たっての各教科についての要望・アドバイス (例：高等学校などにおいて身に付けておくことが望ましい素養や、こうしたレベルの学修が求められるといった目安など)	さらに、 一種免許状 の取得を目指して学修を進めるに当たっての各教科についての要望・アドバイス (例：高等学校などにおいて身に付けておくことが望ましい素養や、こうしたレベルの学修が求められるといった目安など) ※特別支援教育専攻では、一種免許状は取得できません。
国語	「国語」を志望する方は、高等学校などにおいて古典B（古文・漢文）を履修していることが望ましい。	
社会	中学、高校で学んできたことを復習し、教室で教員の話にしっかり向き合えるように土台を固めてきてください。	
数学	数学専攻科目の授業は「数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B」を履修済みであることを前提に行われます。それらの科目の未履修者に対する補習授業は行っていないので、未履修の人は自学自習の必要があります。 例えば、「数学Ⅲ」を未履修の人は、大学の授業とは別に175時間（注）を目安とする自学自習が望まれます。 （注）「数学Ⅲ」は5単位の科目で、1単位あたり35単位時間の学習時間量が必要であることが学習指導要領に示されています。	
理科	自然科学に幅広く関心を持ち、自然科学のどの分野の学習に対しても粘り強く取り組んでください。また、高等学校の理科教科書の章末問題を解くなど、入学前にしっかりと復習をしておいてください。	
音楽	「音楽」を志望する方は、小学校歌唱共通教材のピアノ伴奏ができる程度の技量を有していることが望ましい。	
美術	高等学校などにおいて、「美術」を選択履修していることが望ましい。あるいは、絵を描くこと、ものをつくること、造形活動で子どもと関わることを楽しめる姿勢があることが望ましい。	高等学校などにおいて、「美術」を選択履修していることが望ましい。加えて、絵を描くこと、ものをつくることを探求する姿勢、造形活動で子どもと関わることを楽しめる姿勢があることが望ましい。
保健体育	実技科目として、体づくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、武道、ダンスがあることを確認して選択すること。基礎的運動能力、表現力を有していることが望ましい。なお、運動制限がある際は、実技科目等で履修できない場合があります。	
技術	ものづくりと技術に関わる木工・金工・栽培・機械・電気・情報の各分野に広く関心を持ち、実習を含め根気よく意欲的に学びに取り組むことを期待します。	
家庭	生活に対する幅広い関心を持ち、多様な分野からなる家庭科の授業全てに意欲的に取り組むことを期待します。	

英語	「英語」を志望する者は、英語の４技能（読む・書く・聴く・話す）を用いた授業を受講するため、英語への興味を持っているだけでなく、確固たる英語の基礎力（例：英検２級以上）を入学時点で身につけていることが望まれる。加えて、入学後もさらなる英語力向上に向けて、間断なく努力することが必要となる。	「英語」を志望する者は、英語の４技能（読む・書く・聴く・話す）を用いた授業を数多く受講するため、英語への興味を持っているだけでなく、確固たる英語の基礎力（例：英検２級以上）を入学時点で身につけていることが望まれる。加えて、入学後もさらなる英語力向上に向けて、間断なく努力することが必要となる。
----	--	---

【本件連絡先】

愛知教育大学教務企画課 教育課程係

Tel：0566-26-2163

E-mail：kyouikukatei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

※回答に当たって不明な点や、URLから接続できないなど不具合がありましたら、遠慮なくお問合せください。